

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

7月月間来館者数 3,069名

月平均来館者数 3,472名

日平均来館者数 135名

通算来館者数 128,473名

平和教育の場としての展示館

—— 原水禁79世界大会で力説 ——

いろいろと波乱はありました。が、原水禁79世界大会が統一の形でひらかれたことは、まことに喜ばしいことでした。

その国際会議は七月三十一日から八月二日まで、東京でひらかれましたが、その第二日目には問題別の分科会がひらかれました。平和協会では第三分科会「平和・軍縮の教育と世論喚起のために」に代表として広田専務理事を出席させました。

この分科会では、最初に、広島大学の平和科学研究センターの永井秀明氏から一般的な問題提起と平和教育のための国際会議を日本でひらくことなどの具体的な提案が行われ、つづいて活発な発言が行われました。

教育の現場の教師の体験をふまえての江口先生、田川先生、森下先生などの発言は、耳を傾けさせるものがありました。特に田川先生らが、平和教育を

オート・スライド 「第五福竜丸」完成

第五福竜丸の焼津出港から展示館に保存までの歴史をスライド化
劇団「青芸」の協力をえてシナリオ・テープを作成!

▶ 借出し料 スライド・シナリオテープ = 2,000円 (1回1日の料金)
オート・スライド・キャビン = 1,000円

▶ 詳細は第五福竜丸平和協会 (521) 8494へ◀

国際児童年の夏休み

東京連絡会が行動提起

このほど国際児童年子どもの人権を守る東京連絡会議が、「国際児童年・子どもに平和で安全な未来を」をスローガンとするビラを作成、全都で宣伝活動を行ないました。

ビラは冒頭で「親と子が一し

お知らせ

平和協会評議員に 一八氏が就任

前号に既報の通り、第三四回平和協会理事會が一八名の評議員を選出しましたが、次に改めてご紹介致します。(アイウエオ順・敬称略)

秋月辰一郎、石井あや子、伊

展示館に心ない盗賊

去る七月二日(日)、展示館に盗賊が侵入しました。展示館閉館後の六時すぎの出



動、戦争体験を語り合う会の開催、『おーいま、しろぶね』『猫は生きている』などの児童文学書の推薦など、六項目にわたる夏休み期間中の行動提起を行なっています。

このビラは、約十万円かけ、二万五千枚製作されましたが、平和協会ではビラの裏面に第五福竜丸展示館の案内を掲載、製作費のうち五万円を分担しました。

▽連日の暑さに、読者のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。夢の島の一同も何とか頑張っています。

▽夏になると、原水禁のシーズンとか、原水禁世界大会など多彩の行事があり、いろいろ話題も豊かになります。が、ことは福竜丸も取り上げられ、来館者も多くなっているのは、うれしいことだと思えます。

▽原水禁のことが夏だけの話題に終らず、一年中、休みなしに取り上げられることをねがって止みませんが、そのためにも展示館の組織的見学を訴えます。

▽この夏にむけて、特別臨時号「第五福竜丸展示館について」を八月一日付で発行しましたが、大へん好評でしたので、これからは時どき出したいと思えます。

▽暑さのためか福竜丸も心なし、疲れているか見えなす。そろそろ修理が必要と思いが、この頃です。

(H)

編集後記

原水爆禁止79世界大会

海外代表が展示館を見学

去る八月二日午後、原水爆禁止七十九年世界大会の国際会議に
参加の海外代表五名が、展示館
を見学しました。

ベティ・スー・レンツ (婦人
国際平和自由連盟)、キャロル
・ロスマン (AFSC、ロッキ
ー・フラッツ・プロジェクト)
リール・ディーサム (婦人の声)
バット・バーニー (アメリカ生
存のための動員) の各女史と、
長崎での被爆米兵の未亡人ジ
ン・ラルフの五氏で、いずれも
初来日です。

この見学は、同国際会議に参
加していた広田重道専務理事が
「平和・軍縮の教育と世論喚起
のための分科会」で、福竜丸の
保存運動と現在の展示館の果た
している役割を訴えたのがきっ
かけで、実現したものです。

一行は、広田専務理事の案内
で館内を一巡し、大きな建物に



歴教協大会参加者

バス二台で展示館見学

歴史教育者協議会 (略称「歴
教協」、高橋碩一委員長) では、同
協議会三〇周年を記念して、去
る八月一日から四日まで、第三
一回全国大会を開催しました。

この大会は一日の総会に引き
つづき、二日目、三日目が分科
会で、四日目が閉会総会となっ
ていましたが、二日目の第五分
科会「東京大空襲と第五福竜丸」
に広田重道平和協会専務理事が
講師として招かれました。

広田専務理事の発言は大へん
に感銘を与え、翌日から大会参
加者―北海道から鹿児島まで
の代議員で、学校の教職員の方
が引きつづいて展示館見学にお
ざわ夢の島を訪れました。

見学者の多くは、「二学期か
らの平和教育の中に反映させたい。」「修学旅行のコースに入
りたい。」などと深い感銘を、
展示館の感想録に書き残して行
きました。

展示館でのアンケート調査

第二回中間報告

前回のアンケート集計から一
ヶ月半。さらに二百名の方の協
力が得られ、今回はその合計四
百名のうち小・中・高校生一八
四名 (全体の四六%) について
集計・分析してみました。

【男女別】

男性 一四名 六二・〇%
女性 七〇名 三八・〇%

【年齢別】

10才以下 五二名 二八・三%
15才以下 一六名 六三・〇%
18才以下 一六名 八・七%

【回答別】

1. あなたは、この展示館を次
のどれで知りましたか。

- ① テレビ・ラジオ 九名 四・九%
- ② 新聞 三名 一・六%
- ③ 書籍・雑誌 一名 〇・五%
- ④ 人から聞いた 一〇九名 五九・三%
- ⑤ その他 六〇名 三二・六%
- ⑥ 不明 二名 一・一%

(註) その他は、偶然展示館に立
寄ったものが圧倒的。

2. あなたはビキニ事件と福竜
丸について

- ① 知っていた 七八名 四二・四%
- ② 初めて知った 一〇四名 五六・五%
- ③ 不明 二名 一・一%
- 3. あなたは広島・長崎に原爆
が投下された事を知っていま
すか。

- ① 知っている 一六九名 九一・九%
- ② 知らない 一四名 七・六%
- ③ 不明 一名 〇・五%
- 4. 展示館を見学して、どうで
したか。

- ① 感動した 一〇〇名 五四・四%
- ② 良くわかった 七七名 四一・八%
- ③ 良くわからなかった 七名 三・八%
- 5. その他自由に書いて下さい

- ① 原水爆の恐ろしさがわかった 三六名 一九・五%
- ② かわいそう 二九名 一五・八%
- ③ 船に興味をもった 二五名 一三・六%
- ④ いつまでも保存してほしい

【今回の調査の特徴】

今回の調査は、とくに小・中
高校生にしばって集計して分析
した。

結果として、明らかになった
のは―

設問1. についての口コミの主
たるものは、先生や家族による
ものです。

同2. については、ビキニ事件
について知っている子どもは、
広島、長崎を知っているものの
半数以下で、ビキニ事件の風化
を示しています。

同5. については、かわいそう
という素朴な感情とともに「船
に乗ってみたい」という表現で
子どもの夢が、第五福竜丸とい
う現実を前にして、大きくふく
れあがっていることを、感じさ
れます。

七月十一日 (文責・広田重道)

来館者の

声から



私は、この船のことを知って
いました。前に、ロングラップ
にいて、放射能を浴びた男の人
に会ったことがあり、その人の
甥は死にました。

ベティ・スー・レンツ

もう一発の爆弾の爆発を余り
身近かに経験して、日本人はみ
んな非常に脅かされたにちがい
ない。

ジン・ラルフ

この船は、核兵器によって作
り出された恐怖の切実な見本で
ある。

キャロル・ロスマン

私は帰国して、核戦争に反対
し、もっと一生懸命に働くつも
りです。

バット・バーニー